

うっかり常識を信じて
左遷される前にこれを読むべし!!

間違いだらけの 「酒席のマナー」

人財育成コンサルタント
美月あきこ

BAR

ENKA

KARAOKE

RESTAURANT

会社の同僚や上司などと飲みに行く
機会は案外多いものです。しかし、親
しい友人と飲む時と同じように、その
席でも振舞っていませんか？ マナー
ができていないと、せっかくのコミュ
ニケーションの場が台無しになってし
まいます。ここではワーキングガール
として弁えておきたい酒席のマナーを
お教えしましょう。

「飲みニケーション」にも
意味がある

使い古された言葉ですが、「飲んでコ
ミュニケーションをはかる」という意
味の「飲みニケーション」という言葉
があります。

お酒が入り、リラックスした状態で
会話をすることで、お互いの仕事の場
面だけでは分からなかったその人の性
格や考え方、意外な一面、あるいはプ

ライベートの顔が分かることがありません。

あるいはそれまで苦手だと思っていた人と、お酒の席でたまたま隣合わせになり仕方なく話していたけど、共通の趣味があることが分かって意気投合。以来、職場でもよい関係を保つことができていくというケースも少なくないでしょう。

最近では、個人主義的な考えを持つ人が増え、仕事が終わったライベートな時間を、どうしてまた職場の人たちと過ごさなくてはいけないのかと主張する人もいるようです。あるいはここ数年、社会全体で非正規社員の方が増えており、派遣や契約社員の人に声をかける・かけない、かけられたら参加する・しないなどで、意見が分かれることも多いようです。

しかし職場で一度でも話したことがある人の方が、コミュニケーションはとりやすくなりますし、その分仕事

がしやすくなるという効用があるのは確かです。お酒の席は苦手という方もいらつしやるでしょうが、「その場に一緒にいる」ということに意味があります。

飲み会の目的が、あなたのための歓迎会、お世話になった方の送別会、新しいプロジェクトの前の親睦会などであれば参加するのは当然のことですが、そのほかの会も趣旨によっては、積極的に参加する姿勢をみせてはいかがでしょうか。

私はエアライン勤務時、キャビンアテンダントとして仕事をしていました。ステイ先では先輩との食事は仕事の一部と教え込まれました。最初はその意味もよく理解出来ないまま嫌々ということもありましたが、仕事を円滑に進めるためには、仕事上の仲間と少しでもコミュニケーションを取っておくほうがスムーズであることには間違いがないのです。

お酒は飲んで飲まれるな

楽しいお酒の席も、マナーを知らなかったり、自分勝手に振る舞うことによって、その場をしらげさせてしまったり、後々職場で気まずい思いをすることにつながります。お酒が入ると「つい気が大きくなって」ということがありますから注意しましょう。

お酒が飲めない人は、「アルコールに弱い」ということを周囲の人に伝えておきましょう。でも乾杯や一杯目から断るのではなく、ほんのちよつと口をつけるだけ、飲むマネをするなど、その場の雰囲気にあわせることがポイントです。

また、上司にお酌をされたら、飲めなくても「いただきます」と両手で受けます。気持ちを受け取るということ

ですから、無理に飲む必要はありません。

無理に勧める方も考えものですが、「飲めないって言うてるじゃありませんか」など、かたくなにも受け取れるような態度は感心しません。

逆にお酒が強いことを自負している人も注意が必要です。「もうずいぶん酔っているみたいだし、やめておいたら」と周りの人が忠告しようものなら、「まだ飲めます!」「酔っていません」と意地になって飲んでしまつことがあ

るからです。

お酒が強いことは何の自慢にもなりません。たとえ本当にお酒が強くても、度を越した飲酒は控えましょう。楽しむのはおおいに結構ですが、楽しいから、お酒が好きだからと、周りの人に気を配ることなく、自分のペースで飲んだり騒いだりしないようにするのが酒席のマナーです。

自分の酒量を知っておくことはとても大切です。「これ以上は、飲まない方



がいい」と思った場合は、誰かに勧められても「もうたくさんいただきます」とグラスの上に手をかざして、にこやかに、でもきつぱりと断りましょう。飲みすぎてしまつて、お店を出た後の記憶がない、どうやって家にたどりついたのかさっぱりわからない、なんてことのないように。身の安全のためでもあります。

「お酒は飲んでも飲まれるな」という言葉がありますね。お酒の場は楽しいものですが、お酒が弱い、強いにかかわらず、飲みすぎたりハメを外しすぎて、上司や先輩、同僚にからんだり、正体不明になって介抱してもらおうというような失態をおかしたり、挙句の果てに、翌日は二日酔いで、遅刻したり欠勤するようなことになっては、目もあてられません。

お酒の場でのことだからと許してもらえない範囲を超えてしまつては、今度から二度と声がかからなくなるどころ

か、明日から職場にも居づらくならないことにもなりかねません。社会人として、自分の酒量を知り、スマートに振る舞いたいものです。

バランスのいい会話を心がけよう



また、その場が「つまらない」と思うとそれを表情に出してしまう人がいますが、これは大人の女性としてマナー違反です。合コン相手が好みのタイプの人たちでない場合は、女性が一斉に下を向いて携帯のメールを打ち始めるといった話を聞いたことがあります。ビジネスの場でそれは絶対にしてはいけません。さらに携帯電話で友達と話をするなどの行為は、その場にいる人のことを無視するという事になり、大変失礼です。

つまらないような表情をする、溜息を

つく、トイレに行ったまま帰ってこないなど、つまらないならつまらないで仕方ありませんが、こうした行為は慎みましよう。少なくとも、その場を楽しんでという雰囲気を出すのが大人の女性というものでしょう。

どうしても途中退席する場合は、黙っていなくなると幹事さんを心配させますから、乾杯後、誰かがトイレに行き始める、飲み物をお代わりし始めるなど、ちよつと空気が変わった頃合いを見計らって、幹事さんに「急用が入ったので、お先に失礼します。今日はありがとうございました。楽しかったです」と一言添えてそつと会場を後にするようにします。

また最近、私が気になっていることの1つに、自分のことばかり話す人が増えていることがあります。相手が気を使って話しかけてきてくれているのに、自分のことだけを話しているのは、会話は成り立ちません。「会話はキャッ

チボール」と言われるように、適度な間で「先輩は、どうですか？」など、相手にも適度に質問を返しながら会話を進めたいものです。

ただし自分が話してばかりではいけないからと、質問攻めもまた嫌われます。バランスのいい会話をするように心がけましよう。

その際、話題選びはとても大切です。とくにお酒が入ると感情的になりやすいので、日頃の仕事や上司、取引先やお客様への不満や悪口、愚痴を爆発させたりすることのないように気をつけます。せつかくの楽しい雰囲気があるとよりと暗くなり、お酒も食事もおいしくなくなってしまうです。

仕事のことでは何か問題を抱えているのなら、仕事の場で相談するようにしましょう。

たとえ人に聞こえないように内緒話をしていても、お酒が入ると自然に声も大きくなるものです。誰の

耳に入るかわかりません。お酒の席に限ったことではありませんが、その場にはいない人を批判したり、陰口も慎むようにします。

社内の人間関係は想像以上に複雑なことがあります、この人なら大丈夫と思っただけの批判をしてみたら、その本人と知り合っていたということもよくあります。また、男女問わず同席している人が嫌悪感を抱くような内容の話は口にしないようにしましょう。



その「常識」は間違いです



次に、信じてはいけない「ビジネスでの飲み会の常識」についてアドバイスしておきます。

■行きたくない飲み会はきっぱりと断るべき

断つてもよいのですが、その時は、「行きたくない」「あなたとは飲みたくない」というニュアンスを出さないようにし、「今日は、残念ながら先約がある」となど、あくまでも行きたいのだけれど、やむをえず欠席というニュアンスで伝えます。「また誘ってください」の一言を忘れないように。

■「無礼講」だから無礼をはたらいてもいい

無礼講は、「身分の上下を区別しない形式ばらない宴会」という意味です。とはいえ、「無礼講だから」と、上司に友人のような言葉使いで話かけたり、いつもの不満をぶついたりしてはいけません。

堅苦しい雰囲気ではなく、みんな肩の力を抜いて楽しませようという意味ですから、無礼なことを言ったり、したりすることで、後々のトラブルに発展することもあります。あくまでも、和やかな雰囲気心がけましよう。

ただ、「今日は無礼講で」と言う上司の本心として、部下のみんなとの距離をもっと近くしたいという気持ちがあります。「無礼講と言われても崩れてはいけない」とばかりに、誰に対しても固い調子で話したり、心を閉くことがないというののも考えものです。

職場の飲み会の目的は、「飲むこと」ではなく、普段の仕事の場とはまた違ったところでコミュニケーションをと

ることで、職場の雰囲気をよくすることにあります。

■注がれたお酒は飲みすぎなければならぬ

学生時代、体育会系のサークルなどに入っていた方は想像がつくかと思いますが、「先輩から注いでもらったお酒は、飲みすぎなければ失礼である」というような暗黙のルールが存在していました。

最近では、一気飲みによる重大な事故の恐れがあるため、昔ほど「一気」を強要する場面には遭遇しませんが、いくらあなたがお酒に強くても、また、周囲の人があなたのお酒の強さを褒め称えようと、逆に弱さをなじろうとも無理に飲み干す必要は全くありません。

あなたの体ですから、あなたのペースで飲むことを心がけましょう。

幹事さんは、ある程度の人数を見越して二次会の場所をセッティングしているかもしれませんが、自分たちさえ楽しければいいという行動は、幼稚だと言わざるをえません。きちんと幹事さんに一言伝えてから、その場を去りましょう。



■女性は男性にお酌をするべき

日本では、人に「お酌」をしてあげるという慣習があります。とくに女性がお酒を注いであげるのが当然という考えの人もいて、同席している誰かのコップが空いているのに注がないと「気がきかない」というレッテルを貼られてしまいます。

確かに、誰かのグラスを空にしたままにしておくのは失礼なことで、気がついたら「お注ぎしましょうか」「何かお飲みになりますか」と声をかけるのが正しいマナー。でも、注ぐのは女性の役割ということはありません。男性でも女性でも、気がついた人がすればいいことなのです。

ただし、お酌を強要するような職場もどうかと思いますが、お酌を頼まれた時に、「私がしなくちゃいけませんか」というようなことを言ったり、表情に出したりするのはやはり社会人としてマナー違反です。あくまでもその

場では、和やかな雰囲気をこわすことのないようにしましょう。

飲み会とはいえ、勤務外でもその場に仕事関係者がいれば、仕事の延長と考えた方が間違いないかもしれません。お酒が飲めても、飲めなくてもその場の雰囲気を楽しむということが一番大事です。

とくに若い女性は、男性上司の隣に座るのは嫌だという人が多いようです。好んで座るといふ人もあまりいないと思いますが、露骨に嫌がっている様子を見せるのは、社会人としてマナー違反です。相手の気持ちになつて考える、それは上司でも同じです。

また、一次会がつまらないからと、気の合う人同士で飲み直すのは別に悪いことではありませんが、一次会が終わったらいつの間にかいなくなつていったなんていうのは、なんとも感じの悪いものです。



●みづせ あきこ

大学卒業後、日本航空、ヴァージンアトランティック航空にて通算16年間、CA(客室乗務員)として国際線に勤務。2006年大手ホテルチェーンにて接遇、サービス研修を担当したのを皮切りに多くの企業で研修などを手がけ、人財育成の会社を設立。現在は人財育成コンサルタントとして講演、研修を全国で展開している。航空業界への就職・転職を支援するスクールCA-A-STYLE (http://www.ca-style.jp) を主宰するほか、米国公認会計士 (USCPA) として米国カリフォルニア州で会計事務所運営にも携わる。総合情報サイト All About の「ビジネスマナー」を監修 (http://allabout.co.jp/businessmanar/)。著書に「愛を売る〜魅せる販売術〜」(阪急「ミニクエーション」)。近況「CA-STYLE」では「講師としてスキルアップしたい」というニーズに応え講師育成プログラム(講師への道)がOLさんを中心に大好評です。